

足根管症候群における MRI の有用性に関する研究

2017年1月から2021年12月までに足根管症候群の手術を受けた患者さんの内、手術前に足根管部 MRI を撮影した患者さん

研究協力をお願い

当科では「足根管症候群における MRI の有用性に関する研究」という研究を行います。この研究は、2017年1月1日から2021年12月31日までに日本医科大学千葉北総病院脳神経外科にて、足根管症候群の手術を受けた患者さんの内、手術前に足根管部の MRI を撮影した患者さんを対象とし、MRI 診断の有用性などを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：足根管症候群における MRI の有用性に関する研究
研究期間：倫理委員会承認日から2022年5月31日
研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科 金景成

(2) 研究の意義、目的について

足根管症候群の診断は、臨床症状に加え電気生理検査の結果から行われます。しかし、電気生理検査所見には擬陽性と擬陰性があることが知られており、客観的な診断方法の確立が求められています。足根管部の MRI は、腫瘍性病変の診断に用いられていますが、多くを占めるその他の足根管症候群の診断に関しては、その有用性は検討されていません。今回の研究で足根管症候群における足根管部 MRI の有用性が明らかとなれば、客観的な診断が難しい足根管症候群の診断に大きな影響を与える可能性があり、足根管症候群における MRI の有用性について調査することを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2017年1月1日から2021年12月31日までに日本医科大学千葉北総病院脳神経外科にて、足根管症候群に対する手術を行った患者さんの内、手術前に足根管部 MRI を撮影した患者さんを対象とし、MRI 所見と手術中所見を比較することで、足根管部 MRI の有用性を調べます。更に、患者さんの背景や治療経過、術後経過などを調査します。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を持ちておこなわれます。

試料：なし

情報：年齢、性別、服薬歴、既往歴、血液検査結果、MRI をふくめた画像検査、手術方法と手術所見、合併症、術後の神経症状 等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科 准教授 金景成
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715
電話番号 0476-99-1111（代表） 内線：2232